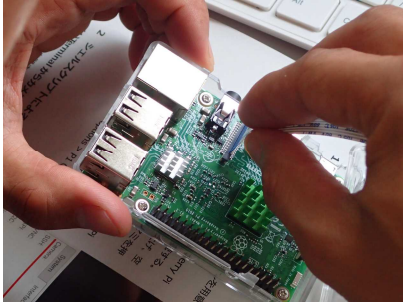


試験研究活動情勢報告（平成30年9月分）

【果樹試験場】

施設カンキツにおける IoT 活用技術の開発へ向けて②



本体は手のひらサイズ。
プログラミングの様子。

簡易なコンピュータの一種である Raspberry Pi は、安価で汎用性の高さが注目されており、IoT 活用を行う上でも施設内環境情報の収集などに利用されていることが知られています。しかし、Raspberry Pi を利用するにはプログラミングの知識を身につける必要があります。そこで、研究員全員参加の勉強会を開催して、まずは写真をインターバル撮影するプログラム作成を行いました。

生育調節剤が根の伸長に及ぼす影響



伸長した根の様子
左：ターム水溶剤
右：フィガロン乳剤

カンキツ類の新梢伸長抑制には、ターム水溶剤とフィガロン乳剤が用いられています。温州ミカンでは、フィガロン乳剤は根の伸長を抑制し、樹勢衰弱を起こすとされていますが、「土佐文旦」では明らかになっていません。そこで、「土佐文旦」と「興津早生」1年生樹を透明な鉢に植えて、それぞれの薬剤散布区と無散布区を設け、伸長した根を定期的に撮影して伸長量を調査しています。現在までに明らかな差はみられていませんが、今後は地上部の生育も併せて調査していきます。